

11/19(木) の発表

はじめよう、つづけよう。

「北海道スタイル」



～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 北海道スタイル

報道発表資料の配付日時

11/19(木)

15時00分

発表項目 (行事名)	腸管出血性大腸菌感染症（溶血性尿毒症症候群（HUS）併発事例）の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分～	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆腸管出血性大腸菌感染症患者（HUS併発事例）の発生について公表するもの</p> <p>帯広保健所</p>		
参考			

報道（取材） に当たっての お願い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。</p> <p>つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布 同時レク	(場所) 帯広保健所	

担当 (連絡先)	<p>保健福祉部健康安全局地域保健課感染症対策係（担当：山下）</p> <p>電話 (代表) 011-231-4111 (内線25-506)</p> <p>(ダイヤルイン) 011-204-5253</p>		
-------------	---	--	--

腸管出血性大腸菌感染症の発生について (溶血性尿毒症症候群 (HUS) 併発事例)

令和2年(2020年)11月19日(水) 15:00
 北海道保健福祉部健康安全局地域保健課
 TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)
 FAX: 011-232-2013

令和2年(2020年)11月17日(火)(第47週)に、帯広保健所管内の男性(80歳代)から、腸管出血性大腸菌(型不明、ベロ毒素産生性)が発生したのでお知らせします。

記

- 1 発生の探知**
11月17日(火)に、帯広保健所管内の医療機関から、腸管出血性大腸菌感染症の患者1名が発生した旨、同保健所に届出があった。
- 2 発生の概要**
帯広保健所管内の男性(80歳代)1名が、11月6日(金)から腹痛、下痢、嘔吐、発熱症状を呈し、同保健所管内の医療機関を受診し、入院、検査、治療を受けた。
- 3 現在の状況**
11月17日(火)に医療機関において死亡が確認された。
- 4 経過**

11月6日(金)	腹痛、水溶性下痢等の症状出現
9日(月)	血便症状出現、医療機関を受診し、入院・検査・治療を実施
16日(月)	溶血性尿毒症症候群(HUS)を発症
17日(火)	医療機関より腸管出血性大腸菌感染症の患者発生届を受理 死亡を確認
- 5 感染経路**
現在調査中
- 6 対応**
 - ・ 家族等の健康調査及び便検査
 - ・ 患者及び家族等の喫食調査
 - ・ 家庭等における手洗い、うがいの励行及び消毒等の清潔保持の指導
- 7 その他**
この件については、本日15時00分、帯広保健所においても資料配付を行っています。
* 報道に当たっては、個人のプライバシー保護のため、特段の御配慮をお願いします。

腸管出血性大腸菌感染症とは

概要: ベロ毒素を産生する大腸菌によって引き起こされる感染症であり、下痢、激しい腹痛、血便、発熱等が主な症状である。

また、病原体を保有していても症状がない場合もある。(無症状病原体保有者)

感染経路: 汚染された食品や、感染者の便が口に入ることで感染する。(経口感染)

分類: 感染症法では三類感染症に定められている。

潜伏期間: 3~5日が多いが、1週間以上の場合もある。

予防策等: 手洗いの徹底による二次感染の防止、食品の十分な加熱等。

溶血性尿毒症症候群 (HUS) とは

概要: 腸管出血性大腸菌 (EHEC) が産生するベロ毒素が、腎臓の微小血管に障害を起こすことで、溶血性貧血、血小板減少、急性腎機能障害といった症状が現れる病態である。

その他、意識障害、痙攣、頭痛といった症状もみられる。

HUSはEHEC感染者の約1~10%に発症し、特に小児や高齢者が発症しやすい。

EHECに感染し、下痢あるいは発熱出現後4~10日に発症することが多い。

【参考】腸管出血性大腸菌感染症の道内における発生状況 (2020年)

11月18日(水) 時点

区分/O抗原型	1	4	8	25	26	86	91	103	111	121	124	125	128	145	146	157	166	不明	合計
患者			1		8		2	3	8	1				1	1	53		12	90
無症状病原体保有者	1		1		8	1	3	4	2		1	1	2		1	17	1	17	60
計	1		2		16	1	5	7	10	1	1	1	2	1	2	70	1	29	150

(単位: 人)

*政令市(札幌市・函館市・小樽市・旭川市)及び本日発表分を含む。

*全道の発生状況については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)